

## 5. 救いとは?

### 目的をもって造られた

私たちは普段、「もし神様がいるなら、何をしてくれるの?」「神様はどんな良いことをもたらしてくれるの?」と考えます。お寺や神社を訪れて願い事もします。また、星占いだったり、山、岩、木などの自然に存在する霊に頼ります。神々のために寺や神社を建て、助けをもたらしてくれることを期待します。まるで神様が人のために造られたかのように、神々が私たちの生活にもたらしてくれるかもしれない善のために、超自然的な力を望んでいます。しかし、この世の創造主である神様は、創造された全てのものができる前から存在しておられたのです。

神様とは世の初めから存在されていた方で、お寺や神社、人の手で作られた物の中には住んでいません。神様は私たち一人ひとりを目的を持って創造されたお方です。どのようなものでも良いので、創り手という立場になって少し考えてみてください。靴職人は、快適さとスタイルのために靴を作ります。芸術家は美を形にします。照明の職人は暗い部屋に明かりをもたらします。あなたという存在も、誰かが、驚くほど特別なすばらしい目的をもって創られたのです。その創り手とは神様のことです。

### 私たちは壊れて、失われた存在

「救われる」という意味がどういうことかを理解するためには、そもそも私たちは何から救われる必要があるのかをまず知る必要があります。「2. 人間とは」「3. 罪とは」で学んだように、私たちは罪、恥、不義の結果、創造主であり父である神様から肉体的、また霊的に離れています。人間としての私たちの性質は、かつての良い状態が壊れ、今は正しくない状態にあります。どれだけ頑張っても最高の行いをしてても不十分なのです。「私たちは皆、羊のように迷っています。」(イザヤ書53:6)

「1. 神とは」で、神様は限りなく聖なるお方である、と学びました。神様は純粋なお方であるため、聖であるというそのご性質に反することは一切されません。神様は、人間には全て理解することのできない私たちの心でさえご覧になることができます。神様は私たちが神様と出会い、神様の家族となるように望まれています。私たちの罪ゆえに神から離れた状態にいます。なぜなら神様のご性質は完全に義(正しい)であり、聖くない不義や不完全な性質を持つ人間と共にいることができないためです。この図のように、もし私たちが外側にいるとするなら、神様は内側におられます。

# 私たち 神様

しかし、神様は私たちをご自分の子供として愛しておられるので、私たちから離れている状態に満足しておられません。「4.イエス・キリストの十字架とは？」で、神様は私たちの身代わりとしてご自分の一人子さえも手放し、完全な捧げ物とされたことを学びました。それは私たちにどのような関係があるのでしょうか？ まだ私たちは、外側にいるように見えます。私たちは神様とは関係がなく、遠く離れているようです。どのようにして私たちは正しいものとされ、神様と一緒に内側にいることができるのでしょうか？

## どのようにして、神様と再び繋がることのできるのか？

私たちが神様に戻るための道を神様ご自身が作ってくださいましたが、神様は親切で忍耐強く、私たち一人ひとりに神様ご自身の方法を無理やり押し付けることはなさいません。神様は私たちを、様々な状況、経験、また神様と再び繋がる道のりを見出させてくれる人々を通して、私たち一人ひとりを近くに呼んでくださいます。それはドアを開けて入って行くようなものです。聖書では、イエス・キリストをご自分を「門」、また「道」と呼んでおられます。

「わたしは門です。だれでも、わたしを通して入るなら救われます。」 ヨハネの福音書10章9節

「イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。」 ヨハネの福音書14章6節

# 私たち イエスキリスト 神様

私たちの身代わりとなってくださったイエス・キリストの十字架の業は、父なる神様の前で私たちを永遠に正しいものとして受け入れてくださることができると学びました。この身代わりは、私たちが受け取るか拒むか選ぶことのできる、神様からの無償の贈り物です。「恵み」であるこの贈り物は、あなたの目の前にあり、今受け取ることができのです。これは、私たちが受ける資格がないにもかかわらず、神様の愛によって私たちに注がれた一方的な神様の恵み、すなわち恩恵なのです。

聖書では神様の贈り物を受け取ることを、イエス・キリストを「信じる」、もしくは「信頼する」と呼びます。私たちは自分自身が壊れた存在で、自力で自分自身を完璧なものや何か価値のあるものに作り上げることはできない現実を受け入れなければいけません。自分自身の力で良い人間になろうとすることをやめて、イエスが私たちの罪をゆるし、父なる神様と私たちの関係を修復してくださった、と信じるのが大切です。私たちは自分の罪のために身代わりとなってくださった神の子が必要であることを神様に告白する必要があります。

イエスは世の救い主であるばかりでなく、あなたの個人的な救い主です。もしあなたが呼び求めるなら、イエスはあなたを円の外に放っておいたままにされません。神様ご自身と共にいることができる円の中へと招き入れるために、その道のりを備えてくださいます。

もし私たちが神様からの贈り物である救いを受け取るなら、それはまた、神様と出会うことでもあります。もはや罪、恥と不義のために神様からの切り離された状態から解放され、霊的に、もともと意図されていた神様との関係が修復された状態になります。これはあなたを永遠に変える一歩です。これが救いです。それは、神様がおられる場の外にいた人が、家に戻って来た迷った子供のように歓迎されるようなことです。神様を知り、神様との関係を持つことは、すべての人間が創造された目的です。そのような関係があるなら、あなたはより豊かに人生を理解し、困難な時でさえ喜びを経験し、他者を大切にし、喜んで人々に仕えることができるようになります。

「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」（使徒の働き16章31節）



「求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。だれであれ、求める者は受け、捜す者は見つけ出し、たたく者には開かれます。」（マタイの福音書7章7、8節）

神様とあなたの関係について考えてみましょう。

1. あなたは、世界を創造し、あなたを創造された神様の存在を信じますか？
2. あなたは、創造主である神様から離れた存在であることを信じますか？
3. あなたは、神様に愛されており、イエスを信じることを通してあなたの罪がゆるされることを信じますか？

「私の創造主、父なる神様、今まで私の人生を導いてくれてありがとうございます。私の罪をゆるすためにイエス・キリストを送ってくださり、ありがとうございます。あなたは私を愛しており、あなたが共に歩むように招いてくださっていると信じ受け入れたいです。私と共にいて、私の人生を永遠に導いてください。」

この祈りをするように導かれたなら、あなたは神様と出会ったのです。あなたはもう神様の子供です。あなたは、今、神様と出会う道のりであった「ファーストレベル」を終えようとしています。けれども、神様にとっては新しい出会いだったのではなく、「再会」だったのです。神様の愛によって創られたあなた、また生まれる前からこれまでのあゆみも全て神様に知られているのです。造られた者が、造った方の元へ戻る時、本来意図された生き方をすることができます。

さあ、これから「セカンドレベル」への旅が始まります！ 続けて、神様について、あなたの人生について、学んでいきましょう！

## あとがき

人生のスタートとは生まれた時に始まったものだと私たちは考えるでしょう。しかし、私たちが生まれる前から、創造主である神様は、すでにこの世、又この人類全てに対してご計画を持っておられ、私たちの想像を超えて一人一人を深く愛しておられたのです。あなたも神様に愛されている者、知られている者としてこの世に存在しています。

神様という存在を発見する時、あなたはやっと神様と出会えたと思うかもしれませんが。けれども、神様にとって、それは「再会」なのです。私たちが神様を知らず、自分の力で生きてきたと思っていた間、神様は私たちが神様の元へ帰ってこられるのをずっと待っておられたのです

「再会」とはすでに知り合っていた者同士が再び出会い、願わくば、新たな関係を育むことを意味します。神様との再会は、あなたの人生を本当の意味で変革する大切な出来事です。この再会は新しい人生のスタートです。もしかすると、劇的な変化が生活の中にすぐに起こるわけではないかもしれませんが。けれども神様と共に生きる新しい人生とは、霊的な意味において今までと全く違ったものです。

神様と再会するための道のりであった「ファーストレベル」の幕を閉じ、「セカンドレベル」へあなたは移っていきます。セカンドレベル・ミニストリーでは、この新しい人生をどのように神様と豊かに歩んでいくか、ということに焦点を当て、みなさんの霊的な歩みをサポートさせて頂いています。一緒に聖書の真実を学んでいきましょう。神様の子供として成長していきましょう。

セカンドレベル・ミニストリー

[www.secondlevel.org](http://www.secondlevel.org)

